

はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルドシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。また、取り付け後も大切に保管し、必要に応じてお読み下さい。

取扱説明書 保証書付

年少者用補助乗車装置 Group 0,1

商品名 **パミオ ウーノ**
型式:LYE-511

注意

- 本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されているれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された3点式 / 巻取り装置なし / 巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 本年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
- 疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。

●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

△警告 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

△注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

⊘ 図示されている内容の禁止を示しています。

Check 安全のため、必ず確認していただきたいこと。

Ⓜ より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

Ⓜ アドバイス

●この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し(本体ベース背面の収納フック)、必要に応じてお読みください。

2. お子さまの適用条件

△警告 お子さまの体重が10kgを超えるまで、前向きで使用しないでください。

体重	7kg未満	7kg～10kg未満	10kg～18kg以下
身長のみやす 年齢のみやす	65cmまで 新生児～6ヶ月頃まで	65cm～75cmまで 6ヶ月頃～12ヶ月頃まで	75cm～100cmまで 12ヶ月頃～4才頃まで
取付方向	後向き	後向き	前向き
取付員	インナーパッド ※商品により形状が異なります	×	×
肩パッド	○	×	×
その他		ひとり座りができ、首がしっかりわっていること。	お子さまを座らせたととき、後頭部が背もたれの上から出ないこと。

3. 取り付けできない座席

△警告 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

△注意 助手席には取り付けしないでください。

シートベルトの付いていない座席	2点式シートベルトの座席	エアバッグが装備されている座席
×	×	× サイドエアバッグのみの場合は取り付けできます。
座席の奥行が43cm以下の座席 43cm以下	シートベルトのバックルが座席の中央寄りについている座席	車両バックルの位置が高く、チャイルドシートを固定できない座席

- 3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。
- バツシブシートベルト（座席に座るとドアの開閉によって、自動的に脱着されるタイプのシートベルト）のついている座席。
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
- 極端なバケットタイプなどの座席。（取り付けたチャイルドシートが安定しません）
- チャイルドシートを取り付けただけで、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万一のとき乗員の安全が確保できません）
- その他、チャイルドシートを固定できない座席。

4. 取付可能な車両シートベルト

本装置は認可された車両がUN/ECE規則No.16または同等の基準で認可された3点式・巻取り装置なし・巻取り装置付き安全ベルトを装着している場合のみに使用できます。

- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、**おさまの車両（シートベルト）に合った取り付け方法で装着してください。**
- 車両シートベルトの種類（○：取り付け可能 ×：取り付け不可）

3点式	巻取り装置有り								巻取り装置無し
	側側	側側	側側	側側	側側	側側	側側	バツシブ	
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

	特徴	本装置の取り付け注意点	取付可能
ELR	緊急ロック式ベルト巻取り装置	肩ベルトをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	○
AELR	チャイルドシート固定機構付ベルト巻取り装置	チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR機能に切り換えてください。 △注意 取り付けの際は、装着車両の取扱説明書もお確かめください。	○
ALR	自動ロック式ベルト巻取り装置	チャイルドシートを固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	○
NLR	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けにあわせてシートベルトの長さを調節し固定します。	○
バツシブシートベルト	座席に乗ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	チャイルドシートを固定することができません。	×
その他のシートベルト	表記されていないものすべて。	チャイルドシートを固定することができません。	×

△警告 2点式シートベルトには取り付けできません

5. 必ずお読みください

緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

タンクプレート
プレスボタン

プレスボタンを押しても、タンクプレートがはずれない場合はシートベルトカッター（付属品）などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

△警告 *記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドシートは取扱説明書どりに固定してください。
- 保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
- お子さまを車内にひとり放置することはおやめください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- お子さまが、バックルのプレスボタンを押さないように注意してください。ときどきタンクプレートがバックルからはずれないことを確認してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に損傷がなくても絶対に使用しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトラックに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
- 運転中にチャイルドシートの操作（ベルト調節 / 角度調節などの操作）をしないでください。
- チャイルドシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。
- チャイルドシートを改造したり、カバー類・フタなどを取りはずして使用しないでください。
- お子さまの負担を考慮し1時間以上連続して使用しないでください。また、新生児（生後1ヶ月未満）にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をなさないでください。
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま取り付けしないでください。しっかりと固定されません。
- シートカバーを外しての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。（衝突時の安全性に影響を与える恐れがあります。）

△注意 *記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。（確認は停車し、安全な状態で行ってください）
- チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取りはずしはおやめください。
- チャイルドシートを取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。
- 車両シートベルト及びチャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。
- チャイルドシートは車両以外での使用をおやめください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が探まらないようにチャイルドシートを取り付けてください。
- お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートの端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。

Ⓜ アドバイス *より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

後向き使用のときは運転席の後部座席へ取り付けると肩ベルトが邪魔になりません。(右ハンドルで助手席側からの乗せ降ろし時)
*車道側からの乗せ降ろしは危険ですので、歩道側から行ってください。

後向き使用 前向き使用

車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。

6. お手入れの仕方

シートカバーなどの縫製製品の洗い方

- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗ってください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯後は、脱水機、乾燥機はかけ、タオルなどで押し絞り、風通しのよい日干しに干してください。
- アイロン掛けはしないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。

日常のお手入れ方法

- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。（一部商品によっては無いものがあります。）
- 脚部やクッション類は水で濡らして固くなったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやゴミを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

△警告 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をためるおそれがあり危険です。

シートカバーの取りはずし方

△警告 カバー類は必ず取り付けて使用してください。

*バックルを解除させてからインナーパッドを取り外してください。（裏面 **Ⓜ** お子さまの座らせ方 **Ⓜ** 「解除」参照）

*商品により、形状が異なります。
*ベルトガイドは、取り付けただけでシートカバーの穴を広げてはなりません。

クッションパッドの取りはずし方

*商品により、クッションパッドがないものもあります。

クッションパッド (頭部パッド) / クッションパッド (座部パッド)

シートカバーの取り付け方

△警告 専用カバー以外は使用しないでください。

*商品により、形状が異なります。

シートカバーの穴を広げてベルトガイドを差し、ベルトガイドの下にはめ込みます。

肩ベルトを全部引き出します。

裏側

Check

- ベルトガイドがすべてシートカバーからでていること。
- 肩ベルト及びアジャストベルトに伸びがないこと。
- タンクプレートの表側が、正面を向いていること。
- もう一度、取り付け手順を確認してください。

クッションパッドの取り付け方

*商品により、形状が異なります。

頭部パッド (座部パッド)

7. インナーパッドの使い方

年齢のみやす: 新生児～6ヶ月頃

頭部パッド **Check** ヘッドパッド凸部がお子さまの首に合うように位置を決めてください。

凸部

座部パッド

*商品により、形状が異なります。

操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

詳しい取り付け方を動画で確認できます ▶▶

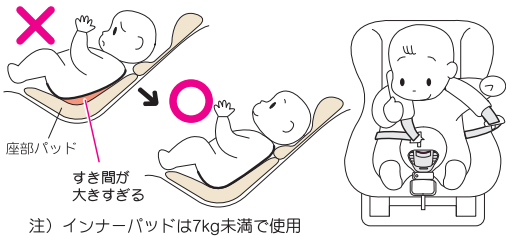


1 お子さまの座らせ方

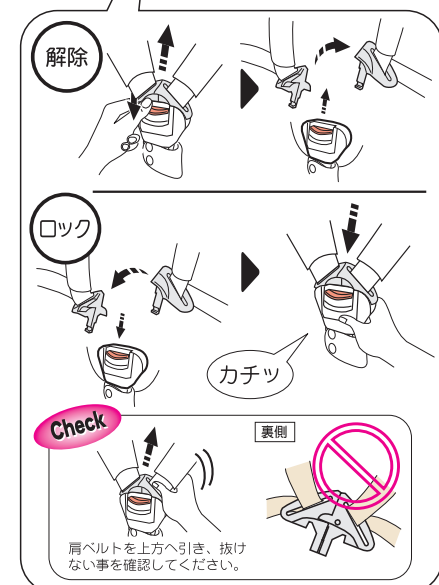
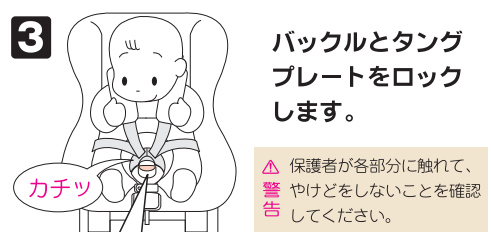
- △警告 お子さまの着座のたびに、かならずアジャストベルトを引きおさまを拘束してください。
- △警告 バックル部分は異物が詰まったり飲み物がかかるとロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。
- △警告 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるよう必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。



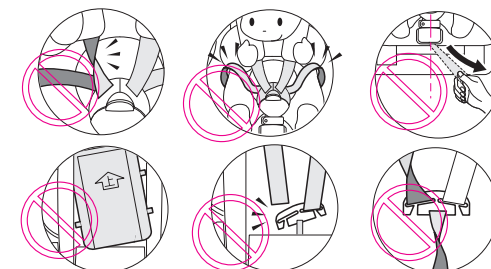
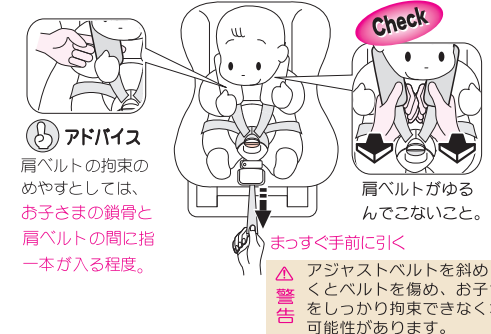
2 お子さまを、チャイルドシートの座面及びインナーパッドにあわせて深く座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。



△警告 かさばる衣服を着せたまま、乗せないでください。



4 アジャストベルトを引き、肩ベルト、腰ベルトのゆるみたるみを取ります。



2 肩ベルト高さ調節

お子さまの体重：**10kg未満**

身長のためやす：**75cmまで**

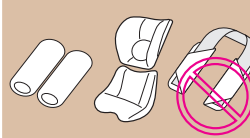
年齢のためやす：**新生児～12ヶ月頃**

後向き取付け



取付具

体重：7kg未満
身長：65cmまで



体重：7～10kg未満
身長：65～75cmまで



前向き取付け

お子さまの体重：**10～18kg以下**

身長のためやす：**75.100cmまで**

年齢のためやす：**12ヶ月頃～4才頃**

前向き取付け



△警告 お子さまの体重が10kgを超えるまでは、前向きで使用しないでください。

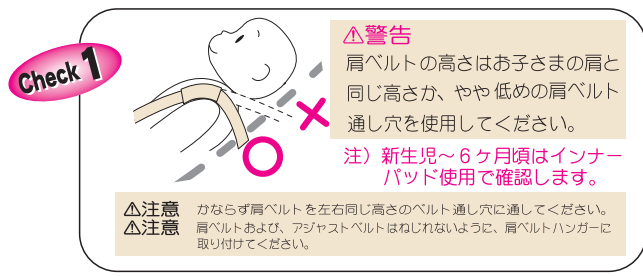
取付具



△警告 かならず幼児専用肩パッドを使用してください。

3 取付角度調節

お子さまを座らせ肩ベルトの高さを決めます



肩ベルトの高さが合っていれば **3**へお進みください

注) 工場出荷時には肩ベルトの高さは最下位にセットしてあります。

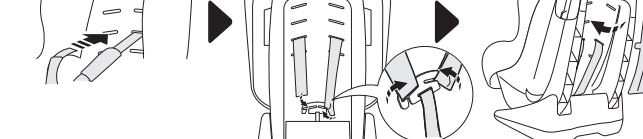
肩ベルトの高さが合わなければ調節してください

アジャスターレバーを引上げたまま、肩ベルトを手前に引けなくなるまで引き出します。(左図 **1** お子さまの座らせ方 **1** 参照。)

肩ベルトを抜き取ります



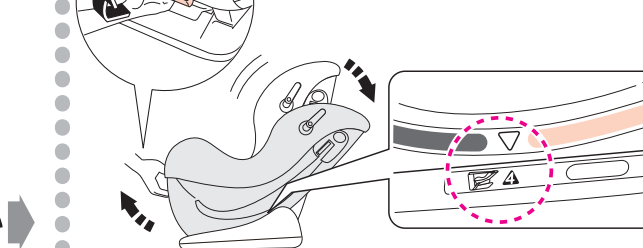
肩ベルトの高さを調節します



4 後向き取付手順

車両シートに後向きで置きます

一番倒れた状態にします



背もたれを起こす

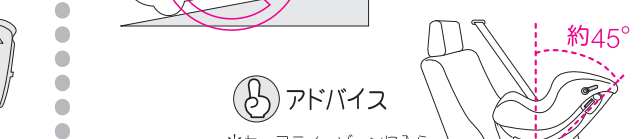


Check 2 接するように



アドバイス

※セーフティーゾーンに入らないときはクッションなどを本体の下に入れて調節してください。



完成図



前向き取付手順

車両シートに前向きで置きます

背もたれを起こす



車両座席の背もたれ角度に合わせてリクライニング調節します



アドバイス

●チャイルドシートと自動車の座席とのすき間にゆとりがタツキが生じると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。左図のようにクッションなどを入れてチャイルドシートを固定してください。



完成図



後向き取付手順

車両シートベルトを通す

カチッ



引っかけ



Check 6 もどす



Check 7 ぐらつきチェック



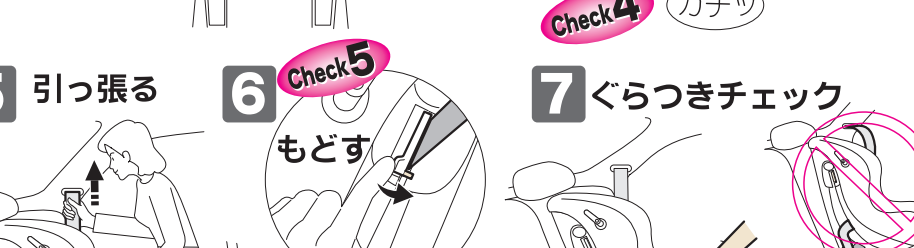
Check 1~7 はかならずおこなってください。



前向き取付手順

車両シートベルトを通す

カチッ



引張る



Check 6 もどす



Check 7 ぐらつきチェック



heck 1~6 はかならずおこなってください。

